

2月 こぐまぐみだより

2024年度2月3日発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ1



暦の上では春となり、今年度も残すところ2ヶ月をきりました。子ども達も日々成長していて、とても頼もしく思います。今年度も残り少なくなり、こぐま組で過ごす時間もあとわずか。これまで以上に一日一日を大切に、子どもたちと過ごしていきたいと思っています。

☆見守りタイム☆



着替えをする時に「自分で！」と意欲的な子が増えています。もちろん気持ちが乗らず「手伝って」と言う日もありますが、お家ではどうですか？

一つ一つの手順と時間がかかり、つい手伝いたくなりますが、声かけながらやり終えるまで見守っていると子どもは自信が付き、励みになります。また、衣服の前後に気づけるように服の絵柄やマーク、タグなどで前後が分かりやすく着脱しやすいよう、袖口や首元に少しゆとりがある服だと「一人で出来た！」と自信につながります。クラスでは一人で出来た！を感じてもらうために見守りながら着替えを進めています。

最近のこぐまぐみは。。

言葉で伝える内容が具体的になってきました。「〇〇行ったよ！」「〇〇食べたよ！」などお家での様子を保育者に話してくれるようになり、保育者や友だちとのやりとりも以前より長くなっています。最近では日中ぱんだ組のお兄さんお姉さんたちと遊ぶ時間を設け異年齢活動を行っています。はじめは1時間程度でしたが、「ぱんだ組と一緒にごはん食べたい！眠る！おやつ食べたい！」など子どもたちからの声もあがったので様子もみながら活動する時間を伸ばしています。進級に向けてクラスの雰囲気も感じられるいい機会となっています。

今月のねらい

- ・自分でできた喜びを感じながら身の回りのことを1人でしようとする。
- ・友だちと思ったことや興味を持ったことを言葉で表し、やりとりを楽しむ。
- ・保育者や友だちと一緒にごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを楽しむ。

✳肌着の活用✳

寒くなると厚手の服を着せたいくなりますが、そんな時は肌着が大活躍します。肌着（半袖でよい）を着て薄手の長袖シャツを気温に応じて重ね着しましょう。肌着と服の間に空気の層ができて温まり、保温効果もアップします。



厚着でもこもこした状態では身体を動かしづらく外遊びにも向きません。薄着で過ごすケガの予防にもなります

2月2日 節分

「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日です。

園では2月3日に、玉入れを鬼に見立てて玉入れ豆まきゲームをします。鬼は“こわい”というイメージよりも何で豆まきをするのか、こぐま組にもわかりやすく伝え行事を楽しんでもらおうと思っています

◆お知らせ◆

- ・2月27日（木）10時より、修了写真撮影を行います。子どもたちの服装は、普段着または子どもたちのお気に入りの格好でお願いします。